

生徒一人一台のコンピュータ導入校の状況について

〔令和2年4月17日〕
学校教育情報化推進課

1 端末の利用開始時期

令和2年度から新入生一人一台の生徒用コンピュータ導入を行う県立高等学校35校の状況は、次のとおり。

(1) 端末の利用開始時期

利用開始月	学校数	学校名
4月	18校	広島国泰寺，広，呉宮原，尾道東，尾道北，福山誠之館，福山葦陽，廿日市，吉田，油木，安古市，府中東，呉工業，宮島工業，西条農業，呉商業，戸手，広島
5月	8校	広島皆実，忠海，沼南，五日市，福山明王台，祇園北，安芸南，尾道商業
6月	2校	呉三津田，大崎海星
7月	7校	音戸，御調，世羅，松永，神辺旭，呉昭和，神辺

(2) 5月以降導入の主な理由

- ・ 機器調達の遅れ（中国製部品の不足等による。）
- ・ 学校ごとの仕様に応じた機器設定に時間を要するため。
（例：端末へのソフト・アプリ等ダウンロード制限，学校が一定の管理権限を持つための設定 など）

2 今後の対応

- ・ 令和2年4月中
学校教育情報化推進課職員が対象35校を訪問し，校長及び推進教員から，現状や懸案事項などを聴取中（4/8～24）
必要に応じて個別支援を実施
- ・ 令和2年5月以降
指導主事が各校4～5回程度を目安に学校を訪問し，授業での活用方法などを中心に，各学校の取組を支援